

# 上毛

3

こうげ町広報 March 2014 VOL.101

CONTENTS

- 町の掲示板 ..... 2
- 町の話 ..... 9
- know「農」 ..... 12
- カルチャー ..... 13
- 町の情報ひろば ..... 14
- 素敵人 ..... 16
- こうげマンが行く! ..... 16

<http://www.town.koge.lg.jp>

## ここまでできています! 東九州自動車道

東九州自動車道(以下「東九州道」)は北九州市を起点として、鹿児島市に至る総延長436kmの高速自動車国道で、沿線には、生産拠点都市の北九州市・大分市・延岡市などが位置しており、九州の東部地域にとってはかけがえのない重要路線です。

平成11年11月に大分米良IC～大分宮河内IC間が東九州道として初めて開通し、現在では55%の約242kmが開通しています(平成26年2月末)。

また、平成26年3月末までには宮崎県の北浦IC～須美江IC間(6.4km)・日向IC～都農IC間(20km)が開通、近隣においては苅田北九州空港IC～行橋IC間(8.6km)が開通し、東九州道沿線の利便性が飛躍的に向上します。



町の花(春)桜

町の花(秋)コスモス

町の木 梅

編集発行/上毛町役場企画情報課  
印刷/第印刷株式会社  
〒871-0992  
福岡県築上郡上毛町大字垂水1-3-21-1  
FAX 0979-720-6664

### 人の動き

1月31日現在

- 世帯数 3,136 (+5)
- 男性 3,754 (-5)
- 女性 4,214 (-3)
- 人口 7,968 (-8)
- 65歳以上 2,530(+11) 31.8%
- 75歳以上 1,407(+10) 17.7%

### うち外国人

- 人口 25(±0)
- 男性 19(±0)
- 女性 6(±0)
- 世帯数 22(±0)  
(うち混合世帯4)

### 参考

- 平成17年10月11日合併時
- 人口 8,499
  - 世帯数 3,057

### ごみの量

1月31日現在

- 可燃ごみ 123.37t (-18.47t)
- カン・ペットボトル 2.82t (+0.29t)
- びん 4.24t (+0.29t)
- 古紙他 14.83t (-1.72t)
- 可燃粗大 3.05t (-0.78t)
- 不燃 5.90t (-3.13t)
- プラスチック製容器包装 1.66t (-0.51t)
- 紙パック、白色トレイ 0.05t (-0.01t)

※( )内は前月増減

環境対応型植物油インキを使用しております。



## 「東九州自動車道の早期完成を目指して」

事業推進のため地域で尽力されているお二人を紹介します。



東九州自動車道下唐原地区建設推進対策協議会  
会長 東山 年春さん

東九州自動車道建設に伴う関係地域の自治会長会議において、事業計画の説明を受け、早期建設、完成に向けて円滑な対応を図ることを目的として平成18年10月に下唐原地区建設推進対策協議会を設置、今年で8年目を迎えます。

当初委員は「自治会・水利組合・土地改良区・農業委員」各役員の8名でスタートし、現在は10名の構成です。これまで協議会は工事に対するプロセスなどについて幾度となく議論を交わし、地元の苦情が無いような様々な申し入れを行い、また事業者も最善を尽くして頂きました。

毎年、協議会役員会の際に西日本高速道路㈱と役場から、工事状況などの説明を受け、トラブルなく建設が順調に進んでいることを聞き、大変喜ばしいことだと思っています。

また、当地区には上毛スマートICが出来ることが決定しています。少なからず観光地へのアクセス、更には災害時の地元支援にもなればと期待しております。

高速道路は多くのプロセスを経て完成されますが、その後の環境被害や景観が損なわれないことも大切であり、更には地域の騒音防止にも努めてほしいと思います。



東九州自動車道安雲・宇野地区建設推進対策協議会  
会長 安元 慶彦さん

東九州自動車道が、平成18年3月国土交通大臣より西日本高速道路(株)へ事業許可がされ、事業がよいよ具現化されることになり、上毛町を東西6.4kmにわたる建設が決定。

安雲・宇野地区をワンスパンとして工区が設けられ、事業の早期完成と工事の効率的進捗を図る目的で地元対策協議会設置の要請が役場からありました。当時私が安雲東地区の自治会長の任にあった関係上引き受けることになり、10名をその構成メンバーとして平成18年7月に立ち上げました。

事業によるアクセス道路や農業用水路の関係などが生じることから、各所の方々に委員の委嘱をお願いしました。役場と会社から計画路線の説明や事業着手に至るまでのスケジュールなどを入念に聞き、将来に禍根を残さないよう対応してきました。また、関係地権者への説明会にも同席し、事業に対する理解を深めて協力をお願いして用地買収がスムーズに進むように助言を行ってきました。幸いに地権者の理解と協力もあって早く用地買収も終わり、地元との設計協議も整って僅か1年7ヶ月で工事に着手することができました。これは異例の早さと言う事で、当協議会に感謝状の贈呈があったことは特記すべきことでもあります。今まで1年に1回は工事の進捗状況を聞くため、役場と会社と協議会委員立会のもとに現場を確認しています。

現在は附帯工事もほぼ終わり、本線の路面工事が進んでおり、来年度供用開始に向けて仕上げの段階と思っています。下唐原地区にスマートICが設置され、上毛町の人の往来が活発になり、地域の活性化に多大なる役割を担うであろうと確信し期待を膨らませています。

国の一大プロジェクトにわずかなりにも参画できたことを誇りとして、今後の地域の移り変わりを見届けていきたいと思ひます。

### こうげマンが行く!

## どんど焼き

上唐原北区



イラスト/絵本作製委員会 東みどりさん



今年も家内安全・無病息災・五穀豊穡を願う「どんど焼き」が町内各地で行われたよ。こうげマンは2月8日(土)に上唐原北区で約40年前から活動している天神カツムリ会主催のどんど焼きにおじゃましたよ。どんど焼きは地域の親睦を図る大切な行事として約30年前から行っているんだって。

竹や木材で組み上げられたやぐらの回りに持ち寄った正月飾りなどを挟み込み、神主さんのお祓いを受けたあと、今年の年男の皆

さんがやぐらに火を移すと、竹の弾ける音とともに一気に燃え上がったよ。ミニやぐらも作られていて子どもたちも大喜びだったよ。やぐらの周囲では竹筒に入れて温めたかつほ酒やお餅がふるまわれ、子どもから大人まで地区の皆さんの笑顔があふれていたよ。

こうげマンもまた一年、元気で町のPRができるようにどんどの神様にお祈りしたよ。

